

特定非営利活動法人 ゼリ・ジャパン(ZERI JAPAN)について

ZERI JAPANとは (ZERI: Zero Emissions Research and Initiative)

資源とエネルギーを循環再利用し、廃棄物を0に近づける「ゼロ・エミッション構想」を出発点として、日本における環境教育の啓発と実践、産業クラスター(連環)の構築、会員企業への情報提供や技術指導などを行い、循環型社会を実現するために2001年に設立されたNPO法人です。



ZERI JAPANのミッション

MISSION 1

海洋プラスチック削減

- ◆海へのプラごみ流出の抑止
- ◆効率的な海洋プラ回収方法の確立
- ◆再資源アップサイクルの定着化



MISSION 2

海洋資源保全と海業活性化

- ◆サステナブル・フィッシング
- ◆マリン・フード・イノベーション
- ◆新たな「海業」の創出



MISSION 3

海洋と気候変動対応

- ◆ブルーカーボンの推進
- ◆再エネルギーの推進と基盤整備
- ◆海運の脱炭素化とイノベーション



活動内容の一部をご紹介します

BLUE OCEANみらいへ 帆船事業

2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)スペシャルサポーターに就任しました。

2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)のスペシャルサポーターに、帆船BLUE OCEANみらいへ(以下、帆船みらいへ)が就任しました。2022年3月にスペシャルサポーターに就任したポリマ号の後継船として帆船みらいへがその任務を引き継ぐこととなりました。帆船みらいへは、大阪・関西万博のスペシャルサポーターとして、現在さまざまなプロモーション活動に協力し、万博の機運醸成を担っております。



気候非常事態ネットワーク CEN

気候非常事態宣言とカーボンニュートラル社会づくり支援ネットワーク

地球温暖化研究の権威、東京大学の山本良一名誉教授を中心として「気候非常事態宣言とカーボンニュートラル社会づくり支援ネットワーク(CEN)」が2020年に設立されました。ZERI JAPANがCEN事務局を担当し、脱炭素社会の実現に取り組んでいます。



山本良一 CEN名誉教授

理事長よりご挨拶

2025大阪関西万博は、2025年4月13日(日)から10月13日(月)まで、184日間開催され、約2800万人の来場者を見込んでいます。またバーチャル会場の開設により、会場外からも万博に参加できる運営が行われます。外務省ホームページによれば2024年3月14日には、161の国や地域、9つの国際機関からの参加申し込みがあります。

ZERI JAPANは、2019年のG20における「大阪ブルーオーシャンビジョン」の理念を継承して、民間パビリオンとしてブルーオーシャンドームを出展し、①**プラスチック海洋汚染防止** ②**海業の持続的発展** ③**海の気候変動の理解促進**について、世界の人々や企業と共に、その解決策を考え行動いたします。万博期間中は、運動や展示は会場内に閉じず、会場内外での各種イベントを計画し、このテーマを発信し、少しでも問題解決につながるよう、活動を計画いたします。世界中の多くの方々、企業や団体の参画を希望・募集いたします。

ZERI JAPAN
理事長

更家 悠介



当法人にお気軽にご相談ください。詳しい資料をお送りさせていただきます。

詳細のご説明、お打合せはオンラインでも実施可能です。

特定非営利活動法人 ゼリ・ジャパン(ZERI JAPAN)

〒140-0002 東京都品川区東品川1-25-8



info@zeri.jp

詳細は
ウェブサイトを
ご覧ください



2025大阪・関西万博
民間パビリオン

「ZERI JAPAN出展パビリオン」 ブルーオーシャン・ドーム 催事のご案内



ver.2 (Nov, 2024)

©Expo 2025



BLUE OCEAN
DOME

海と話そう。

宇宙も、地球も、生命も、果てしない生の連鎖を生み出す海洋も。

私たちが生きるこの星は、最先端の科学をもってしても

いまだ解明されていない神秘で溢れている。

BLUE OCEAN DOMEは、水の惑星、地球と対話するパビリオン。

知っているはずの水を、まるで生まれて初めてみる物質のように

新鮮に感じ直す、超はっ水のインスタレーション。

地球上の約97%の水が織りなす

海という生命体の知られざる様相と、

プラスチック汚染の実態を描く、巨大球体シアター。

驚異のリアリティで地球と対峙したあとに

見えてくるのは、どんな未来か。

DOME A 循環

水の循環



DOME B 海洋

海を取り戻す



DOME C 叡智

人類の叡智



PAVILION

BLUE OCEAN DOMEの テーマは「海の蘇生」です。

漁礁の減少、海水温の上昇、気候変動による大災害、そしてプラスチック汚染など、海洋はまさに危機に瀕しています。そんな水の惑星が直面している問題を克明に描き出すと同時に、地球、宇宙、生命、環境といった大きな概念からこれらの関係を捉え直し、環境モラルの覚醒を劇的に呼び起こしていきます。

PAVILION | パビリオンについて

DOME A | 循環

超はっ水・巨大立体アートピースで、
水という物質を見つめ直す。

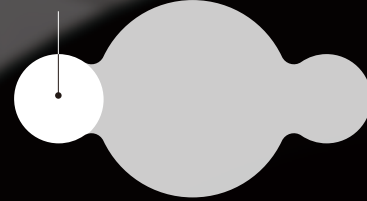
パビリオンを訪れる人々を出迎えるのは、巨大、緻密、清冽な「水」のスペクタクル。超はっ水塗料をほどこした真っ白な盤面を、ころころ、さらさら、によりよると水がかたちを変えながら駆けめぐっていく。それは、地球を躍動させる水の循環。海から蒸発し、雨となって山に降り、川を流れ、湖や池をつくりながら海へと戻る水の一生を眺め、心を清める“みそぎ”の体験を。

DOME B | 海洋

超高精細・巨大球体スクリーンで、
まだ見ぬ海洋世界に没入する。

トンネルのような通路を抜けると宇宙空間のような、漆黒のシアターへ。高精細のLEDスクリーンに映し出されるのは、青く輝く水の惑星・地球そのもの。いのちの誕生から、躍動する魚の群れ、サンゴ礁の豊かな生態系、未知の深海生物、そして海中を侵していくプラスチックごみまで。無数のいのちがさざめく「海」に没入し、環境の汚染に身を震わせる、はじめての映像体験を。

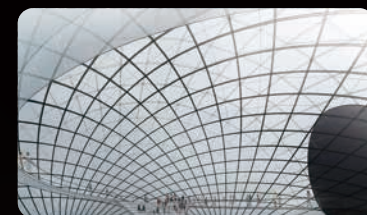
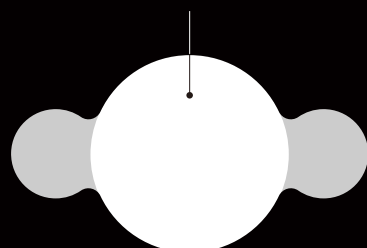
DOME A



建築 | 竹のドーム

竹は3〜5年で成長する持続可能な素材です。そのままと直射日光により割れやすいという弱点を、最新の技術を用いて集成材にすることで払拭しました。軽量かつ木材より強く、加工もしやすい竹集成材を、新しい建築構造素材として提案します。

DOME B



建築 | CFRPドーム

建築の軽量化を命題に、航空宇宙や自動車などに用いられるCFRP(炭素繊維強化プラスチック)を主構造として採用。鉄の1/5の軽さでありながら同等の強度を持つこの素材により、杭を打たずに建設し、廃棄物を出さずに撤去できるパビリオン建築を実現しました。

DOME C



建築 | 紙管のドーム

坂 茂の建築を象徴する建材として、災害時の仮設住宅から恒久的な公共施設まで国内外で用いられている再生紙の紙管。通常は紙や布などの巻き取り芯材として使われるこの素材を、パビリオンの構造材として展開しました。

DOME C | 叡智

見えてくるのは、どんな未来か。
海の課題と、人類の叡智の交差点。

一連の展示コンテンツを体験した後は、見えない海に目を凝らし、海の未来を考え続けるための交流拠点へ。超ワイドなLEDスクリーンを備えたBLUE OCEAN STUDIOを起点に、海の未知を解き明かす研究者や、海の課題に立ち向かう起業家、企業人、海をなりわいとする人や、海を表現する人など人類の叡智を結集し、世界へと発信する。

MEMBERS | メンバーについて



建築プロデューサー 坂 茂

アメリカで建築を学び、紙管、コンテナなどを利用した建築や災害支援活動で知られる。2014年には建築分野の国際的な賞であるプリツカー賞を受賞、2017年に紫綬褒章を受章、マザー・テレサ社会正義賞を日本人初受賞。2022年、ロシアのウクライナ侵攻被災者支援により、スペイン皇太子賞受賞。



総合プロデューサー 原 研哉

日本の伝統や美意識を未来資源として運用していく点から、多角的なデザインディレクションを行なっている。「もの」のデザインと同様に「こと」のデザインを重視して活動中。国内外の受賞多数。シンガポールTVの制作による活動ドキュメンタリーが「ニューヨークフィルムフェスティバル」を受賞するなど国際的に活動が注目されている。



ZERI JAPAN 理事長 更家 悠介

1951年生まれ。1974年大阪大学工学部卒業。1975年カリフォルニア大学バークレー校修士課程修了。1976年サラヤ株式会社入社。1998年代表取締役社長に就任、現在に至る。公益社団法人日本青年会議所会頭、財団法人地球市民財団理事長などを歴任。2010年 藍綬褒賞、2014年 渋沢栄一賞受賞。

BLUE OCEAN STUDIO

人類が直面している課題と、人類の叡智が交差する場へ

ドームC「叡智」にて、世界中のソーシャル・イノベーターの共創による、

「海と保全と繁栄」の実現に向けた国際シンポジウム、講演、ワークショップ等のイベントを開催します。

世界と日本の海洋テーマの最前線に触れ、魅力溢れる知的体験をお楽しみください。



BLUE OCEAN STUDIO イベントスケジュール

※2024年11月時点の情報です。変更の可能性がございます。

W1 4/14 ~ 4/20	BODオープニングウィーク	W14 7/14 ~ 7/20	アメリカウィーク
W2 4/21 ~ 4/27	ブルーアイランドウィーク(仮)	W15 7/21 ~ 7/27	北海道ウィーク
W3 4/28 ~ 5/4	瀬戸内ウィーク	W16 7/28 ~ 8/3	フィッシャーマンウィーク
W4 5/5 ~ 5/11	ブルーエデュケーションウィーク	W17 8/4 ~ 8/10	ブルーエデュケーションウィーク
W5 5/12 ~ 5/18	ブルーシップウィーク	W18 8/11 ~ 8/17	ブルーエデュケーションウィーク
W6 5/19 ~ 5/25	企業ウィーク ~レンゴー株式会社~	W19 8/18 ~ 8/24	アフリカウィーク
W7 5/26 ~ 6/1	企業ウィーク ~サラヤ株式会社~	W20 8/25 ~ 8/31	UNESCOエデュケーションウィーク(仮)
W8 6/2 ~ 6/8	ブルーエコノミーウィーク	W21 9/1 ~ 9/7	(調整中)
W9 6/9 ~ 6/15	UN OCEANウィーク	W22 9/8 ~ 9/14	ブルーテックウィーク
W10 6/16 ~ 6/22	対馬ウィーク	W23 9/15 ~ 9/21	ブルーオーシャン・イニシアティブ 「BLUE CHALLENGE 2025」
W11 6/23 ~ 6/29	ヨーロッパウィーク	W24 9/22 ~ 9/28	大阪ウィーク
W12 6/30 ~ 7/6	ヨーロッパウィーク	W25 9/29 ~ 10/5	シーフードウィーク
W13 7/7 ~ 7/13	チャイナウィーク	W26 10/6 ~ 10/12	ブルーニューウェイブウィーク

夕方18:00~20:00からは「SDGs EVENING TALKS」の時間を設けています。 ※詳しくは **P7-8** へ

※グレイアウトしている期間は除く。

協賛メニューのご紹介

パビリオン「ブルーオーシャン・ドーム」の「ドームC(叡智)」では、
企業や団体の皆様がSDGsアクションを
世界に発信するステージをご用意しました。



DOMEC

ドームCで登壇・登壇・展示・PRをご希望される
企業・団体の協賛を募集中です。

下記の3つの協賛メニューで万博にご参加いただけます。

1
イベント
登壇協賛

詳しくは **P7-8** へ

2
壁面展示
協賛

詳しくは **P10** へ

3
ロゴ表示
協賛

詳しくは **P10** へ



1 イベント登壇協賛

SDGs EVENING TALKS

イベント登壇協賛では、18:00～20:00に開催される「SDGs EVENING TALKS」にご参加いただき、SDGsに関する取り組みをトークセッションを通じて発信していただけます。万博会場から世界に向けてアクションを発信できる貴重な機会です。ぜひご参加ください。

標準ステージ 時間	60分 18:00～20:00
--------------	---------------------------

準備や片付けの時間を含めた
2時間の枠を確保しております。

プラン内容

1

ステージ登壇権

SDGs EVENING TALKSにご参加いただけます。
幅9.5mの大モニターを使用した
迫力あるプレゼン、
トークセッションが可能です。

2

ライブ配信

- 1 BLUE OCEAN STUDIO
YouTubeチャンネル
- 2 バーチャル万博

ステージイベントはライブ配信で
より多くの方に視聴いただけます。

3

ZERI JAPAN ウェブサイトで アーカイブ公開

映像はZERI JAPANウェブサイト上で
いつでも閲覧可能です。
約10分に編集したアーカイブ映像の
電子データをご提供します。

様々な表示が可能な幅9.5mの大モニターを活用し、
迫力ある登壇講演やトークセッションが可能です。

ステージ背景には大型LEDが備え付けられており、スクリーンサイズは幅9.5m、高さ3mを想定しています。
大画面で迫力ある登壇講演やセッションができます。40席後部中央に撮影用カメラを設置し、登壇している様子を撮影します。



※イメージは計画中のものです。変更になる可能性があります。



バーチャル万博とは

バーチャル万博は、大阪・関西万博のバーチャル会場です。アバターとして大阪・関西万博の世界に入り込み、ブルーオーシャン・ドームを含む各出展者が展開するバーチャルならではの展示やイベントを楽しむことができます。

ブルーオーシャン・ドームのバーチャル万博では、世界中の方が海洋に関する教育的かつ没入感のあるコンテンツを体験できます。



※イメージは計画中のものです。変更になる可能性があります。

2 壁面展示協賛

協賛用展示スペースの、視認性高い壁面を活用したPR展示が可能です。



プラン内容

壁面展示コーナー利用権
(1枠/週)

協賛用展示スペースで、壁面を活用したPR展示が可能です。

ドームの導線が一直線になっているため、パビリオンを訪れた多くの来場者に展示内容を見ていただくことが可能です。

展示期間は1週間です。

3 ログ表示協賛

各イベントの幕合に、大型モニター上に協賛ロゴを掲示します。



プラン内容

- 大型モニター上へのロゴ表示
- ZERI JAPANウェブサイト上にロゴを表示

約20週間のイベントの幕合にロゴが表示されます。

※P5のイベントスケジュールでグレイアウトしている期間は除く。

さらに、ZERI JAPANのウェブサイトの「協賛」項目に企業・団体ロゴを掲載します。

協賛についての
詳細情報・お問い合わせ
はこちら

MAIL **info@zeri.jp**

ウェブサイトはこちら <https://www.zeri.jp/expo2025/>

ぜひ
ご確認
ください!

